

## 令和4年度沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンス・ アドバイザリー委員会（第2回）の議事概要について

1. 日 時：令和5年3月24日（金） 10時00分～11時30分
2. 場 所：沖縄総合事務局4階 事業審査室
3. 委 員：委員長 天方 徹 （弁護士）  
委員 小池 真由美 （公認会計士）  
委員 小濱 武 （沖縄国際大学講師）
4. 議 事：・令和4年度コンプライアンス推進計画の実施結果  
・令和5年度開発建設部コンプライアンス推進計画（案）
5. 各委員からの主なご意見等

○内部監査の実施結果について教えていただきたい。

→一般監査の中で各事務所を監査した結果、特に問題はなかった。  
監査の際の各事務所からの意見を踏まえリスク回避等マニュアルについて整理・統合を行うこととした。

○国土交通省定期監察の実施結果について教えていただきたい。

→概ね好意的な評価だったが、女性職員の幹部職への登用と超過勤務について口頭でご意見をいただいた。  
超過勤務増大については新型コロナウイルス感染症対策関連の報告業務によるものであったが、これまで報告様式の簡素化等を行い、超過勤務につながらないように措置している。

○受注業者に配布する「協力文書」であるが、内容は「協力依頼」とのことだが、仮に受注業者側が違反した場合、何らかのペナルティを設けているのか教えていただきたい。

→文書の内容は「執務室へは無断で立ち入らないでください」などの協力依頼である。発注者綱紀保持規程において、当局職員は、個室で一人で利害関係者と対応することの禁止といったルールがあるため、そのルールを遵守するために、事業者に対しては「協力依頼」という内容で入室を断っている。また、同規程では、事業者から職員に対し「不当な働きかけ」があれば、その内容を公表することとしている。

○リスク回避等マニュアルについて、機能向上による対策等の更新は必要だが、「必ず守るべき対策」は「～しなければならない」、「守った方がよい対策」は「～留意する」といったように、文言の使い分けはきちんと行った方がよい。

→ご指摘を踏まえ、整理します。

以上。